

# 真宗研究 第五十四輯 目次

真淳における念と戒の問題……………	高田派	栗原直子(一)
親鸞における仏性開覚の意味……………	大谷派	伊奈 潔(一七)
メタファーとモデルと方便の意義……………	龍谷大学	杉岡孝紀(三七)
野々村直太郎と「浄土教革新」論……………	大谷大学	木越 康(五)
阿闍世の廻心……………	本願寺派	永原智行(七五)
「信巻」三二問答の背景について……………	本願寺派	安方哲爾(九)
曇鸞の『浄土論』解釈の視点……………	同朋大学	尾畑文正(二九)
——「第十八願開顕の書」としての『浄土論』の一考察——		
初期本願寺における「信と教団」……………	龍谷大学	斎藤信行(二三)
真宗障害者社会福祉における……………	大谷派	頼尊恒信(二五)
「社会モデル」の受容……………		

法然・親鸞における菩提心観……………三門徒派 嶋津行史(一七〇)

法然における助業についての一考察……………大谷派 杉浦道雄(一九〇)

親鸞における聖徳太子観……………大谷大学 東館紹見(二〇〇)

——六角堂参籠時を中心に——

宗祖晩年の教学の特色……………佛光寺派 門川徹真(二三〇)

——太子信仰を中心として——

〈記念講演〉

真宗者の人間像……………龍谷大学名誉教授 普賢晃壽(二五三)

——教学背景を中心として——

学会彙報……………(二七五)